

# 鮎釣王国

淡水釣りの拠点、古座川上流・中流・下流、そして七川ダムで遊ぶ。

● 竿先に全神経を集中する



鮎、アマゴ、カワムツ、ウグイ、ウナギ、  
ブラックバス、沢ガニ、ズガニ…。

● 縄張りに入ってきた鮎を威嚇する天然鮎／撮影・内山りゅう

● 茹でると真っ赤になるズガニ



● 七川ダム付近橋有敷のブラックバスポイント



古座川は古くから鮎の川です。6月1日の鮎の解禁日を迎えると、津々浦々から集まってくる古座川の鮎ファンの釣師たちで賑わいます。さらに6月中旬を過ぎれば、古座川支流の小川「滝の押」では、鮎のトントントン釣りも解禁になります。「注組員の色」トントントン釣りは川の浸食で凹凸になった滝ノ押の地形を利用した漁法で、餌やおとりを使わないで道糸におもりと錨型の3本針を2、3本つけただけの仕掛けで、竿の上下で鮎を引っかけ、釣りあげます。その際、おもりが川底をトントントンとたたくことから名付けられたそうです。地元の人々の珍しい釣姿に観光客や写真家の方々が注目します。

せせらぎの中で、じっと竿先への微妙なあたりに神経をとぎすます鮎釣師の姿は、いにしえより変わることなく古座川の自然と溶け合ったひとつの風物詩ともいえるでしょう。

この他にも、上流域ではアマゴやイワナなどの渓流釣り、七川ダムではブラックバス釣り等が楽しめます。渓流を巡る程、多種多様な楽しみ方ができる川遊びの宝庫、それが古座川なのです。

# さあ、沢を越え 山に登ろう。

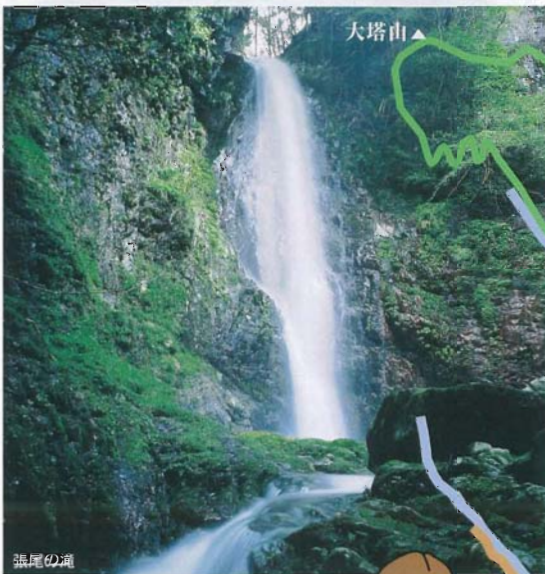
頂上からの絶景、清涼感溢れる空気は、心地よい達成感とともに訪れる。紀伊山地の恩恵を受けた古座川の山々でその魅力に触れる。



大塔山からの展望



熊笹樹林の風根を進む



大塔山▲

張尾の滝



張尾の前まで約30分、沢を登る。



植魚の滝

水音を聴きながら歩くと、癒される。



おとうざん  
**大塔山**  
頂上制覇の悦楽！  
空も海もまるごと  
収まる大景観！  
古座川の源流を有する大塔山。1  
21、8mの頂上を目指し、沢を30分  
ほど歩いていくと、多くの登山者がま  
ず最初に訪れるポイントに辿り着きま  
す。それが、登山道を中心に十字路と  
なる左右の道それぞれにある、2つの  
滝です。左側の道に進むと、豪快な水  
音が響き渡るものの、三方が岩壁で閉  
ざされている為ひっそりとした印象を  
与える落差18メートルの「植魚の滝」を  
見つけることができます。また、右側  
の道に進むと、「張尾の滝」が、「ザーツ」  
と勢いよく落下する水流から得られる  
涼しさとマイナスイオン満点の空気は、  
何度も深呼吸したくなるほど。この滝  
を見下ろして更に歩き続けていくと、  
大切に護られている自然林が見えてき  
ます。頂上も目前となる頃には、西方  
角には法師山や百間山が見渡せたり、  
太平洋の海原が見えたりと、要所要所  
で絶景が飛び込んできます。その广大  
さに後押しされて登りきった頂上には、  
ブナの大木が疲れを癒すかのように出  
迎え、熊野の山並みの深緑の息吹きを  
五感で感じられます。身体全体が、ジ  
ーンと達成感に包まれる一瞬です。

